

## 2 配偶者からの暴力の被害経験

### (1) これまでの配偶者からの暴力の被害経験の有無

これまでに結婚したことのある人（2,485人）に、“身体的暴行”“心理的攻撃”“経済的圧迫”“性的強要”の4つの行為をあげ、それぞれの行為について、配偶者から被害を受けたことがあるかを聞いた。

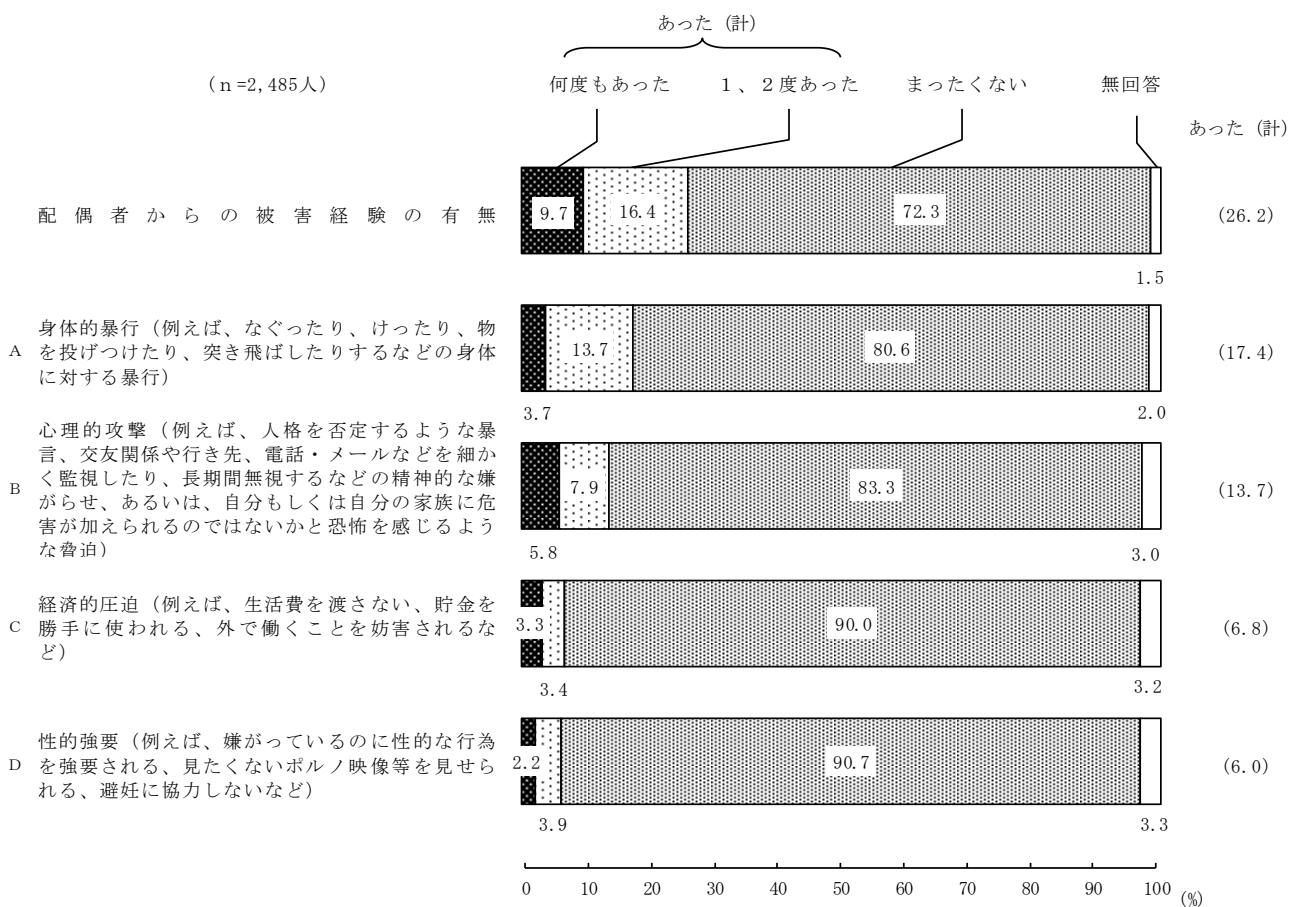
“身体的暴行”“心理的攻撃”“経済的圧迫”“性的強要”のいずれかについて配偶者から被害を受けたことがある人をまとめると、『あった』が26.2%となっている（「何度もあった」9.7%と「1、2度あった」16.4%の計）。

それぞれの行為について、被害経験が『あった』割合をみると、“身体的暴行”が17.4%、“心理的攻撃”が13.4%、“経済的圧迫”が6.8%、“性的強要”が6.0%となっている。（図2-1-1）

問6 あなたはこれまでに、配偶者から次のA～Dのようなことをされたことがありますか。A～Dのそれぞれについて、「①これまで」のあてはまる番号に○をつけてください。また、「①これまで」で「1、2度あった」、「何どもあった」と回答した方は、「②この1年間」についてもお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

なお、ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者（離別・死別した相手、事実婚を解消した相手）も含まれます。

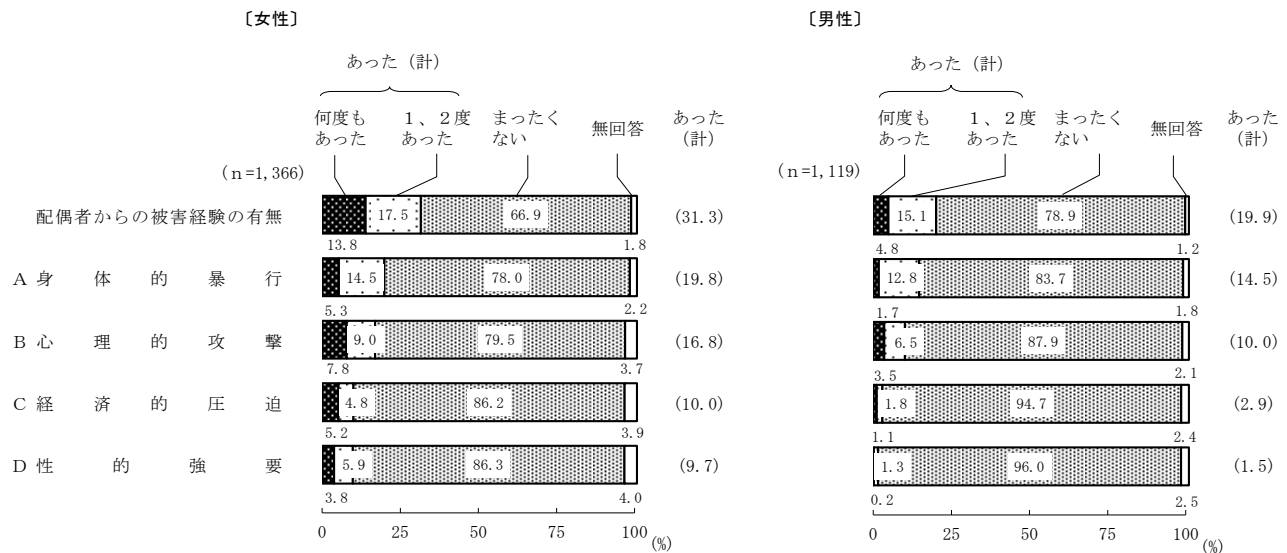
図2-1-1 配偶者からの被害経験の有無



配偶者からの被害経験を性別にみると、被害経験が『あった』は女性が 31.3%、男性が 19.9%となっている。

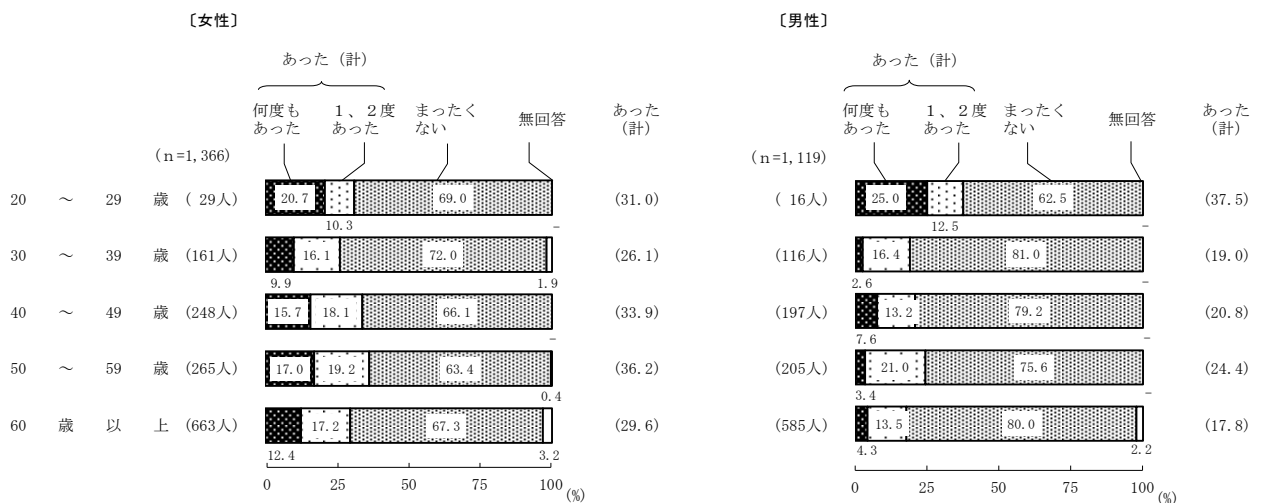
それぞれの行為について、被害経験が『あった』は、“身体的暴行”では女性が 19.8%、男性が 14.5%、“心理的攻撃”では女性が 16.8%、男性が 10.0%、“経済的圧迫”では女性が 10.0%、男性が 2.9%、“性的強要”では女性が 9.7%、男性が 1.5%となっている。いずれの行為も、女性の方が被害経験者の割合が高くなっている。(図 2-1-2)

図 2-1-2 配偶者からの被害経験の有無（性別）



さらに性・年齢階級別に配偶者からの被害経験をみると、女性ではすべての年代で 25%を超えており、男性では 20～29 歳で 37.5%となっている。(図 2-1-3)

図 2-1-3 配偶者からの被害経験の有無（性・年齢階級別）



配偶者からこれまでに被害を受けたことがある人（650人）について、配偶者から受けた“身体的暴行”“心理的攻撃”“経済的圧迫”“性的強要”の被害をみると、重複した被害を受けている人は42.9%となっている。性別にみると、女性が47.3%、男性が34.5%となっている。（表2-1-1）

表2-1-1 配偶者からの被害の重複

(配偶者からこれまでに被害を受けたことがある人)		(%)		
		総数	女	男
n		650	427	223
重複あり		42.9	47.3	34.5
	身体的暴行と心理的攻撃	14.3	11.7	19.3
	身体的暴行と経済的圧迫	2.9	3.3	2.2
	身体的暴行と性的強要	2.5	2.8	1.8
	心理的攻撃と経済的圧迫	2.6	2.8	2.2
	心理的攻撃と性的強要	2.0	2.6	0.9
	経済的圧迫と性的強要	0.3	0.5	-
	身体的暴行・心理的攻撃・経済的圧迫	4.6	4.2	5.4
	身体的暴行・心理的攻撃・性的強要	4.3	6.3	0.4
	身体的暴行・経済的圧迫・性的強要	1.1	1.6	-
	心理的攻撃・経済的圧迫・性的強要	1.7	2.6	-
身体的暴行・心理的攻撃・経済的圧迫・性的強要	6.6	8.9	2.2	
重複なし		57.1	52.7	65.5
	身体的暴行のみ	30.2	24.4	41.3
	心理的攻撃のみ	16.3	14.5	19.7
	経済的圧迫のみ	6.0	8.0	2.2
	性的強要のみ	4.6	5.9	2.2

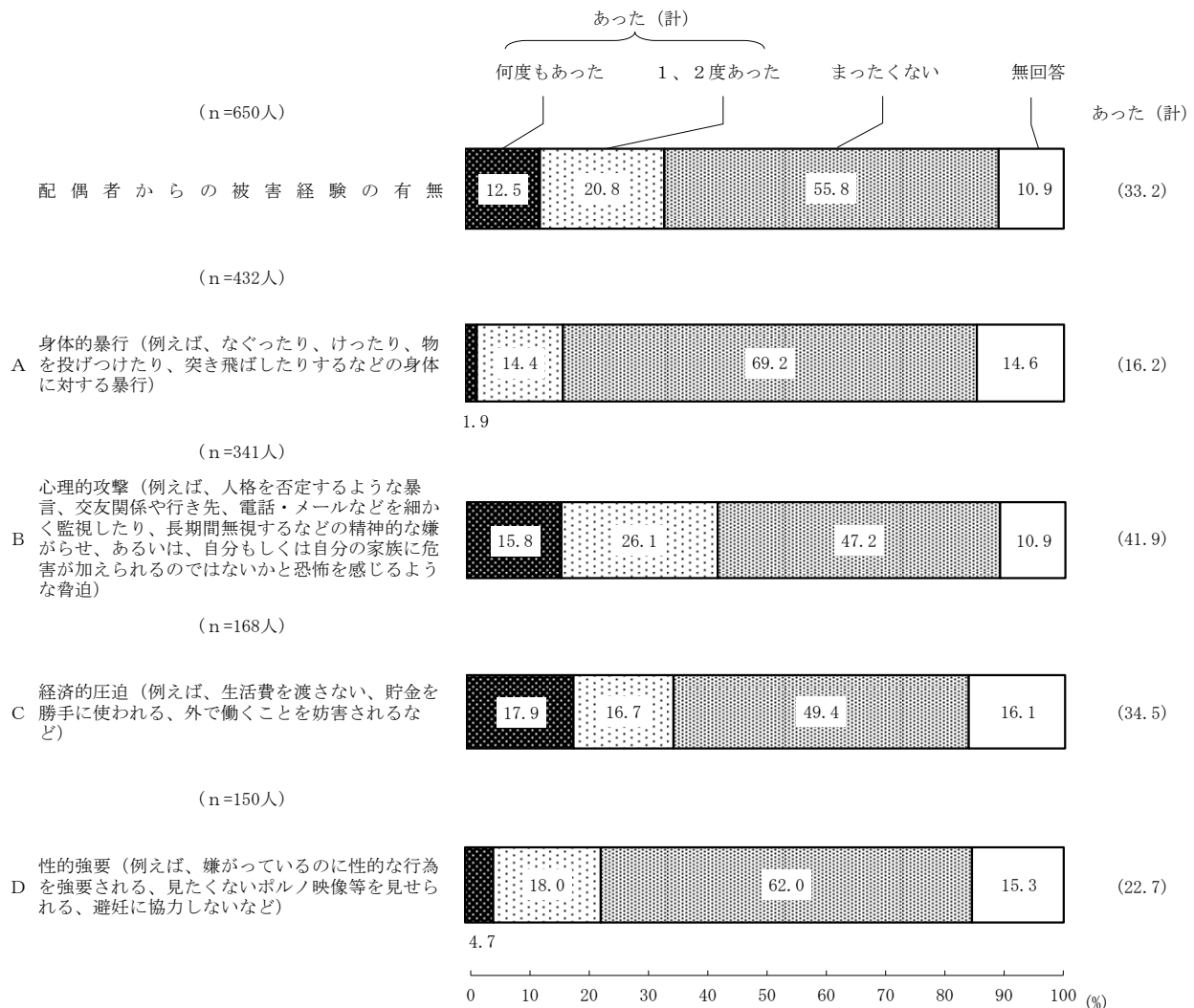
## (2) 過去1年以内の配偶者からの暴力の被害経験の有無

配偶者からこれまでに被害を受けたことがある人に、この1年間にしぼって“身体的暴行”“心理的攻撃”“経済的圧迫”“性的強要”の4つの行為をあげ、それぞれの行為について被害経験を聞いた。

これまでに“身体的暴行”、“心理的攻撃”、“経済的圧迫”、“性的強要”のいずれかについて配偶者から被害を受けたことがある人（650人）に、この1年間に被害を受けたことがある人をまとめると、『あった』が33.2%となっている。

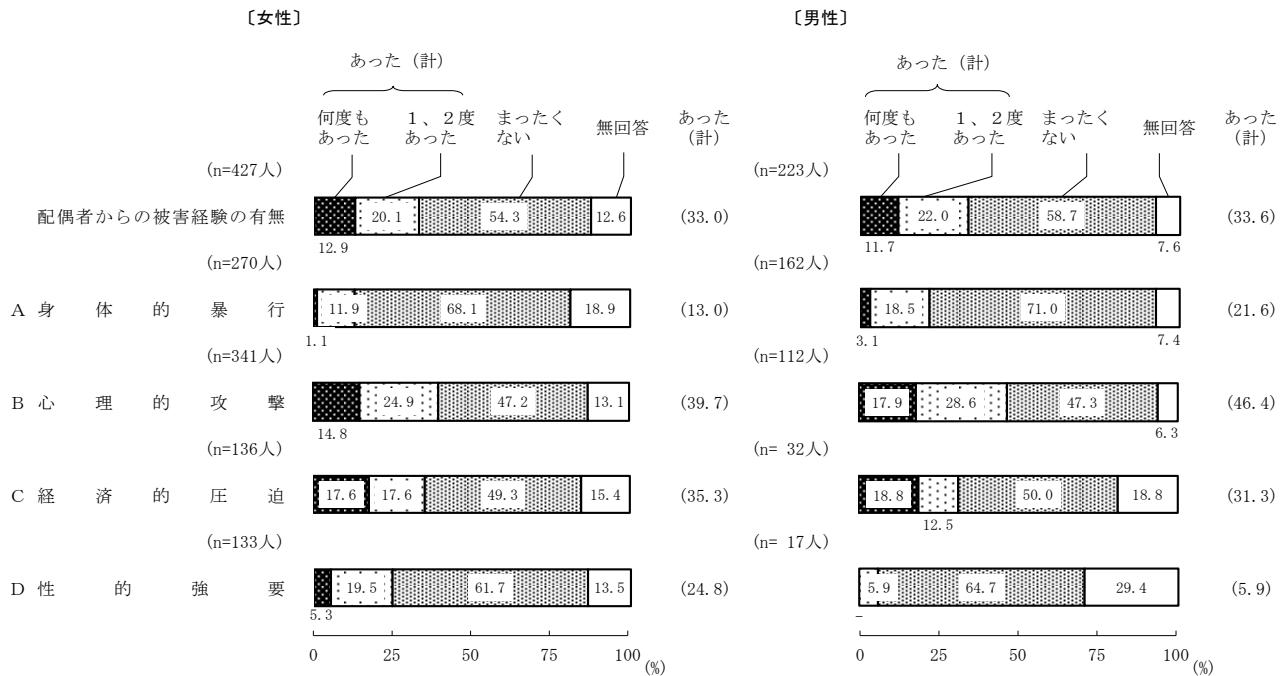
「この1年間にあった」という人を行為別にみると、“身体的暴行”を受けたことがある人（432人）は16.2%、“心理的攻撃”を受けたことがある人（341人）は41.9%、“経済的圧迫”を受けたことがある人（168人）は34.5%、“性的強要”を受けたことがある人（150人）は22.7%となっている。（図2-2-1）

図2-2-1 配偶者からの被害経験の有無 —この1年間—



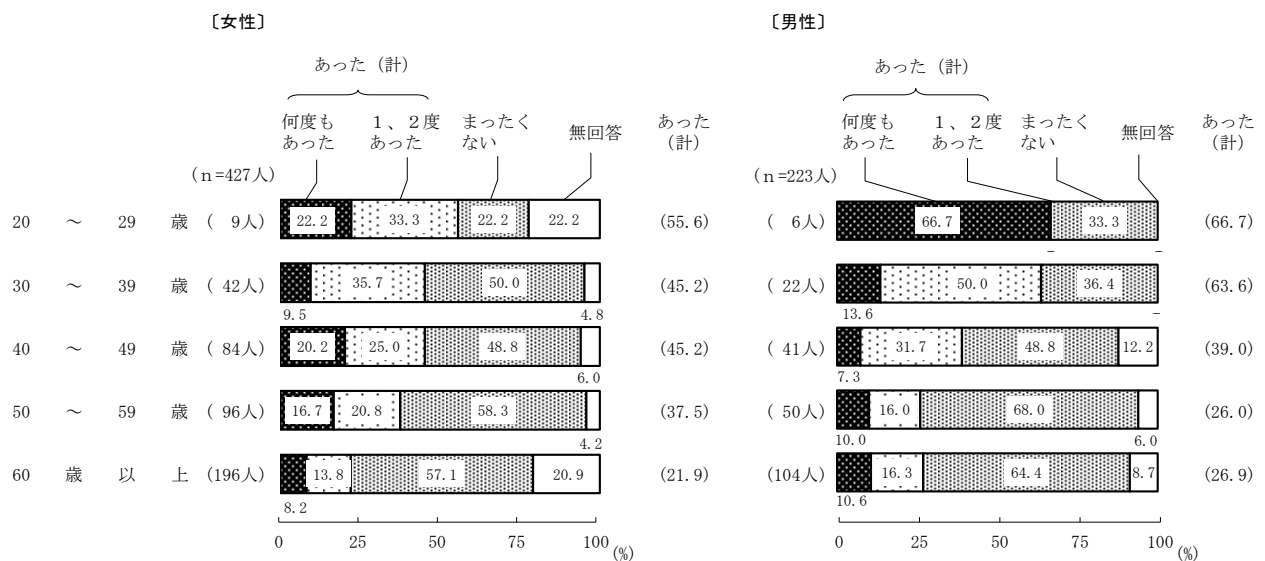
この1年間の被害経験を性別にみると、いずれかの被害をこの1年間に受けた人は女性で33.0%、男性では33.6%となっている。(図2-2-2)

図2-2-2 配偶者からの被害経験の有無 — この1年間（性別）—



この1年間の被害経験を性・年齢階級別にみると、いずれかの被害をこの1年間に受けた人の割合は、女性では年代が低くなるほど高くなっている。(図2-2-3)

図2-2-3 配偶者からの被害経験の有無 — この1年間（性・年齢階級別）—



配偶者からこの1年間に被害を受けたことがある人（216人）について、配偶者から受けた“身体的暴行”“心理的攻撃”“経済的圧迫”“性的強要”の被害をみると、重複した被害を受けている人は29.6%となっている。性別にみると、女性が30.5%、男性が28.0%となっている。（表2-2-1）

表2-2-1 配偶者からの被害の重複— この1年間 —

(この1年間に配偶者から被害を受けたことがある人)		(%)		
	n	総数	女	男
重複あり		29.6	30.5	28.0
	身体的暴行と心理的攻撃	8.8	3.5	18.7
	身体的暴行と経済的圧迫	0.9	-	2.7
	身体的暴行と性的強要	-	-	-
	心理的攻撃と経済的圧迫	7.9	9.9	4.0
	心理的攻撃と性的強要	2.3	3.5	-
	経済的圧迫と性的強要	0.5	0.7	-
	身体的暴行・心理的攻撃・経済的圧迫	4.2	5.0	2.7
	身体的暴行・心理的攻撃・性的強要	1.4	2.1	-
	身体的暴行・経済的圧迫・性的強要	0.5	0.7	-
	心理的攻撃・経済的圧迫・性的強要	0.9	1.4	-
	身体的暴行・心理的攻撃・経済的圧迫・性的強要	2.3	3.5	-
重複なし		70.4	69.5	72.0
	身体的暴行のみ	14.4	9.9	22.7
	心理的攻撃のみ	38.4	35.5	44.0
	経済的圧迫のみ	9.7	12.8	4.0
	性的強要のみ	7.9	11.3	1.3

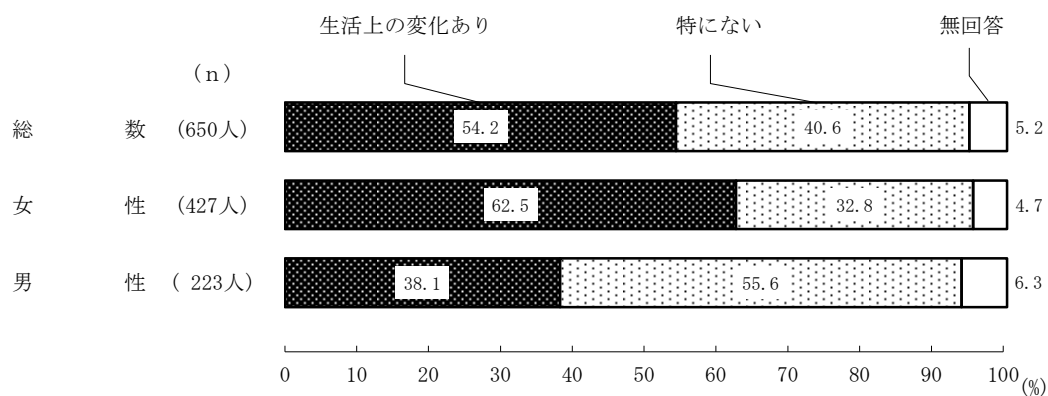
### (3) 生活上の変化

配偶者から何らかの被害を受けたことのある人（650人）に、被害によって引き起こされた生活上の変化を聞き、何らかの変化があったと回答した人を『生活上の変化あり』としてまとめた。

『生活上の変化あり』は54.2%で、女性が62.5%、男性が38.1%となっている。（図2-3-1）

問7 あなたはこれまでに、配偶者から受けたそのような行為によって、生活が変わりましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

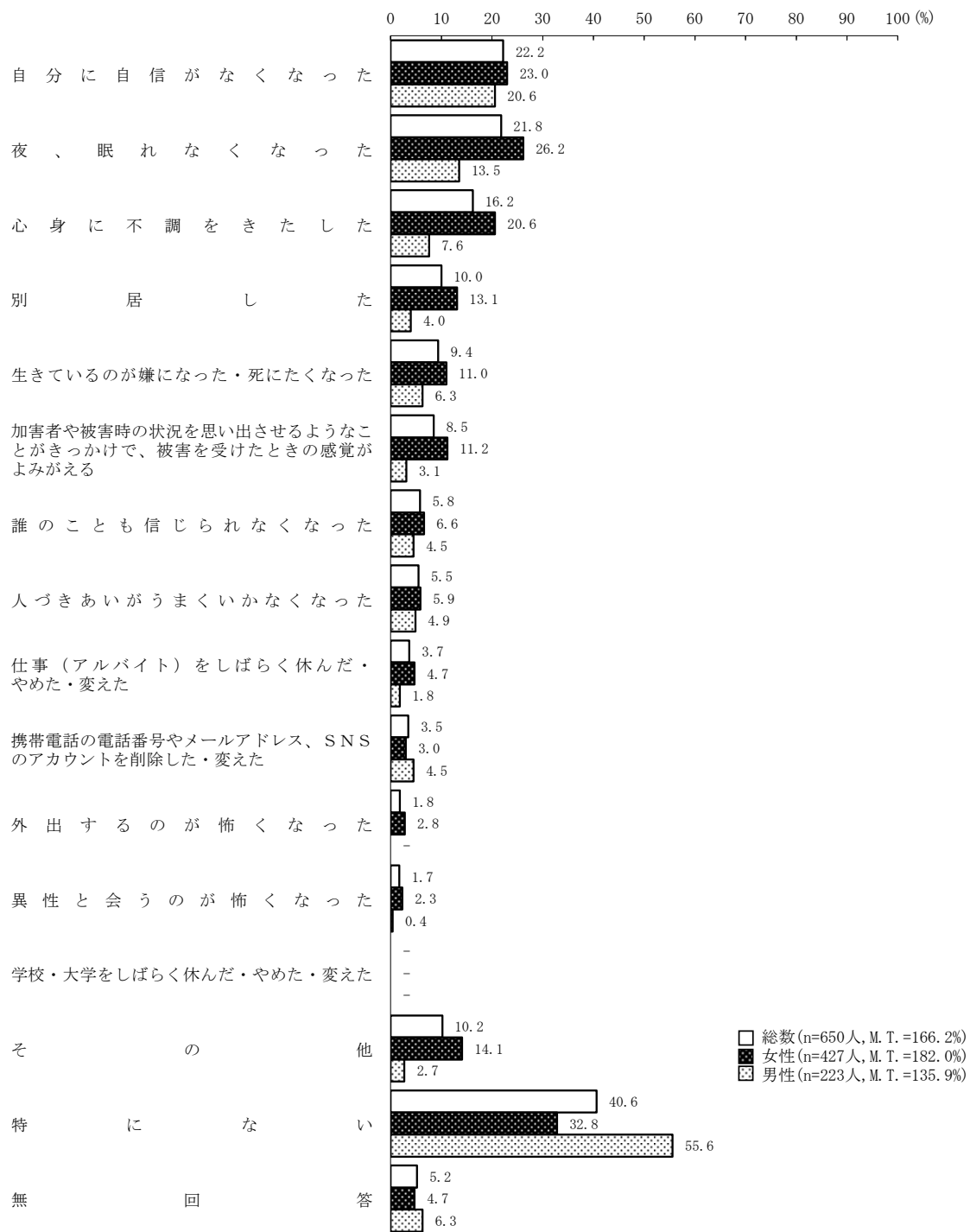
図2-3-1 配偶者からの被害による生活上の変化の有無



生活上の変化の内容をみると、「自分に自信がなくなった」が22.2%、「夜、眠れなくなった」が21.8%と多く、次いで「心身に不調をきたした」(16.2%)、「別居した」(10.0%) などとなっている。

性別にみると、女性は「夜、眠れなくなった」が26.2%と最も多く、男性は「自分に自信がなくなった」が20.6%で最も多くなっている。(図 2-3-2)

図 2-3-2 配偶者からの被害による生活上の変化（複数回答）





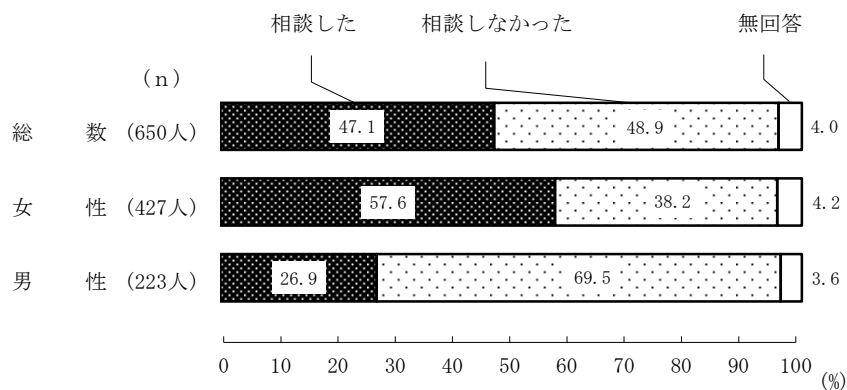
#### (4) 配偶者からの暴力の相談経験

配偶者から何らかの被害を受けたことがあった人（650人）に、被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしたかを聞き、いずれかの相談先を回答した人の合計を『相談した』としてまとめた。

『相談した』は47.1%で、女性は57.6%、男性は26.9%となっている。（図2-4-1）

問8 あなたはこれまでに、配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

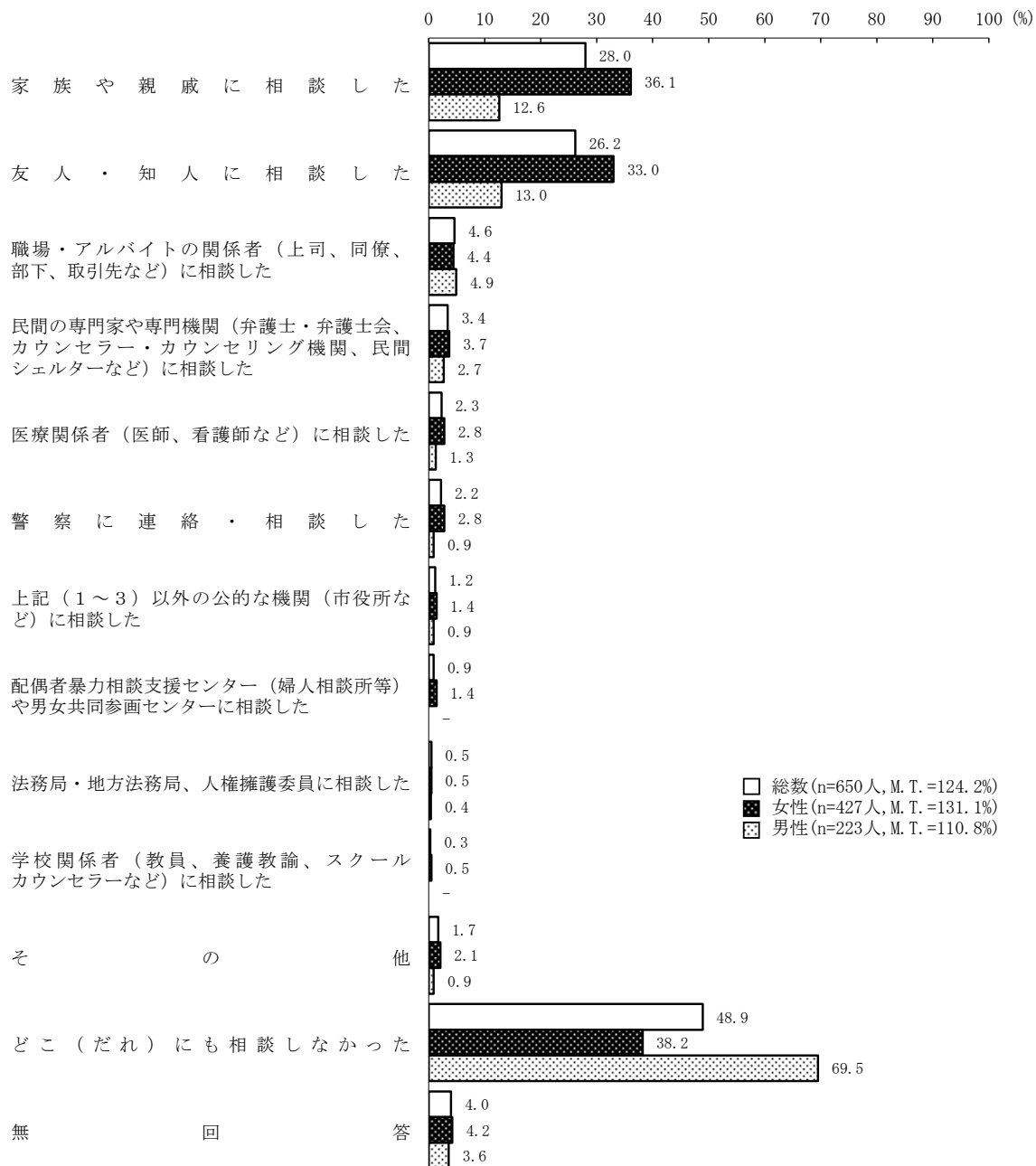
図2-4-1 配偶者からの暴力の相談の有無



相談先をみると、「家族や親戚に相談した」が28.0%、「友人・知人に相談した」が26.2%などとなっている。

性別にみると、女性は「家族や親戚に相談した」が36.1%と最も多く、男性は「友人・知人に相談した」が13.0%で最も多くなっている。(図2-4-2)

図2-4-2 配偶者からの暴力の相談先（複数回答）



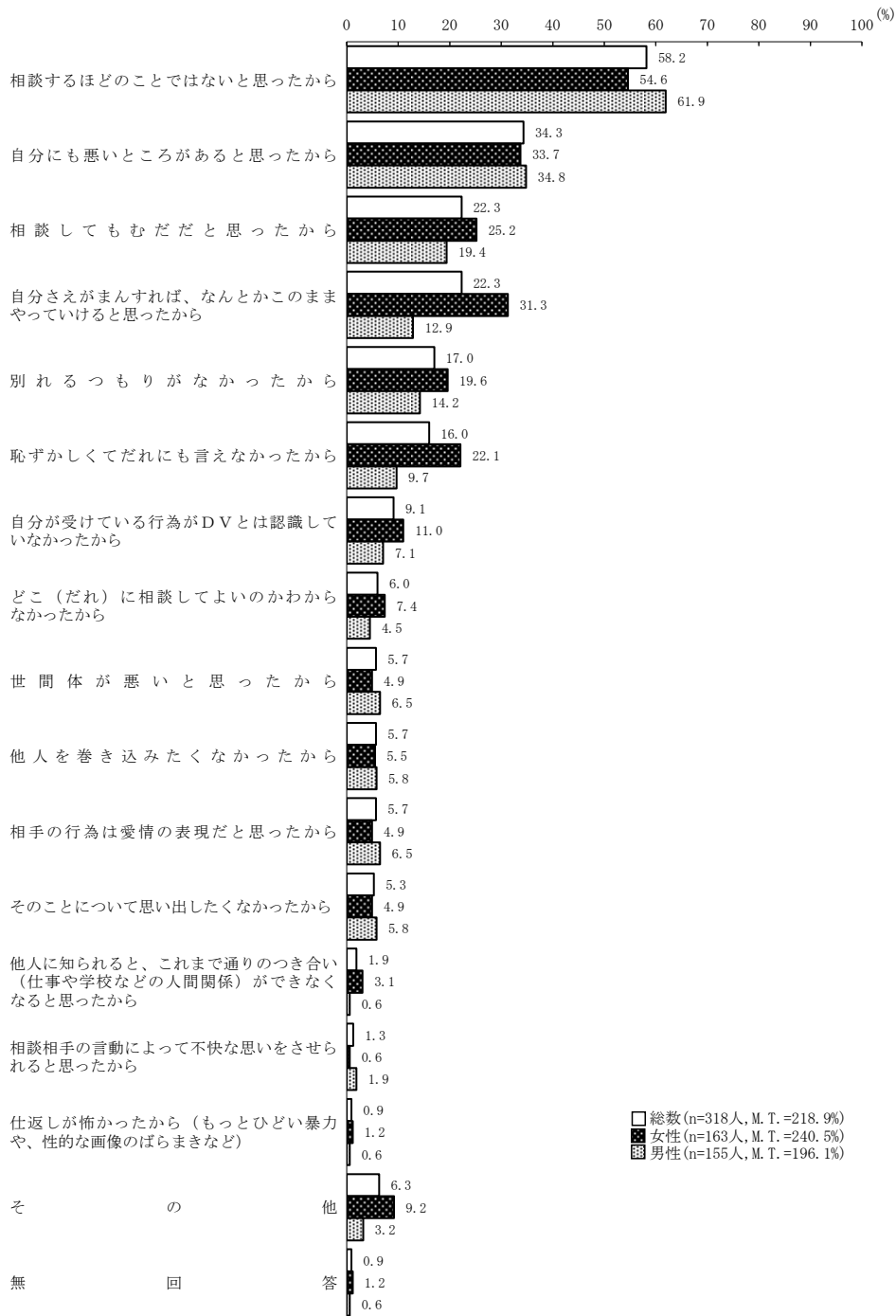
\* 「上記（1～3）以外の公的な機関」とは、下記以外の公的な機関を指す。  
 1. 配偶者暴力相談支援センター（婦人相談所等）や男女共同参画センター  
 2. 警察  
 3. 法務局・地方法務局、人権擁護委員

### (5) 相談しなかった理由

配偶者から受けた被害について、「どこ（だれ）にも相談しなかった」という人（318人）に、相談しなかった理由を聞いたところ、「相談するほどのことではないと思ったから」が58.2%と最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」（34.3%）などとなっている。（図2-5-1）

問9 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図2-5-1 相談しなかった理由（複数回答）



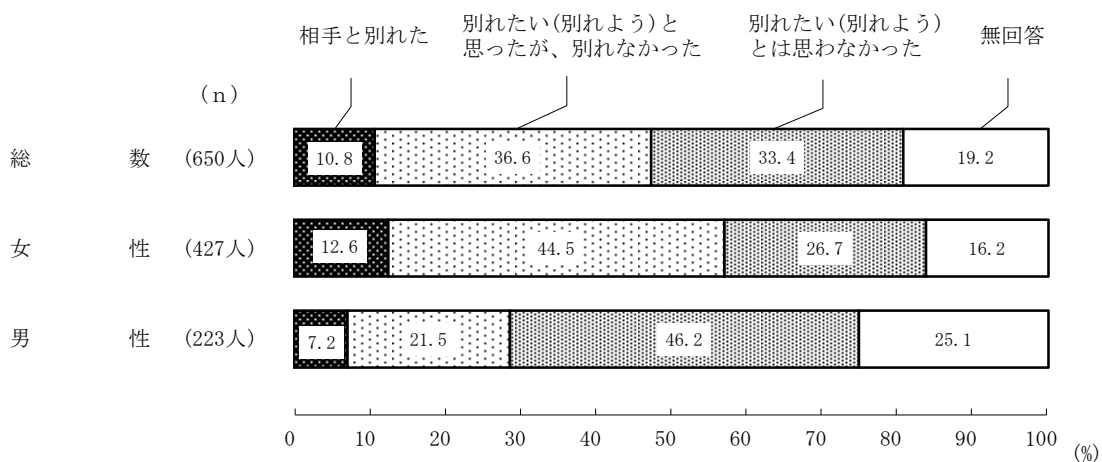
## (6) 配偶者から被害を受けたときの行動

これまでに配偶者から何らかの被害を受けたことのある人（650人）に、その行為を受けたとき、相手との関係をどうしたのかを聞いたところ、「相手と別れた」が10.8%、「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」が36.6%、「別れたい（別れよう）とは思わなかった」が33.4%となっている。

性別にみると、女性は、「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」（女性44.5%、男性21.5%）が最も多く、男性は、「別れたい（別れよう）とは思わなかった」（女性26.7%、男性46.2%）が最も多くなっている。（図2-6-1）

問10 あなたは、配偶者からそのような行為を受けたとき、どうしましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図2-6-1 配偶者から被害を受けたときの行動



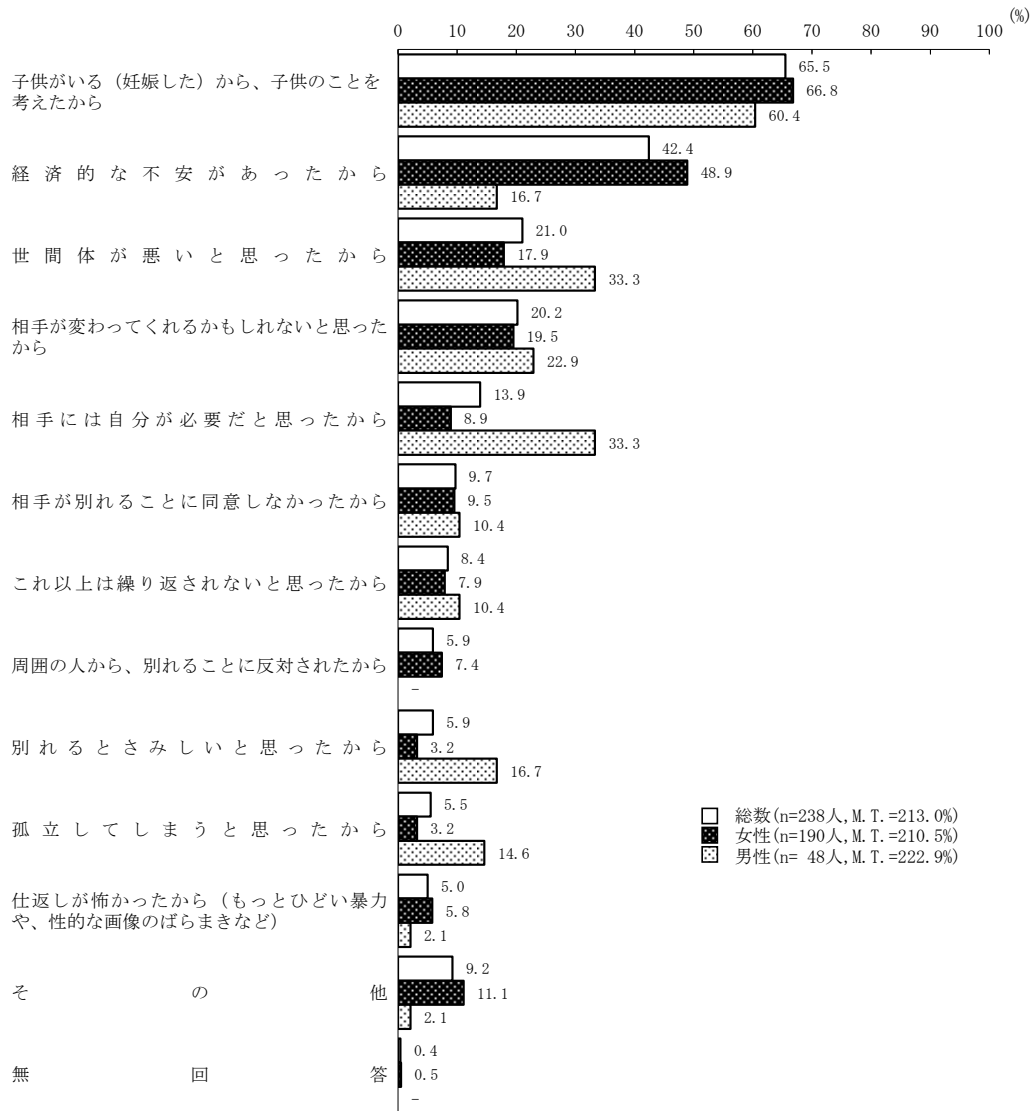
### (7) 配偶者と別れなかった理由

配偶者から何らかの被害を受けたとき、相手と「別れたい（別れよう）」と思ったが、別れなかった」という人（238人）に別れなかった理由を聞いたところ、「子供がいる（妊娠した）から、子供のことを考えたから」が65.5%と最も多く、次いで「経済的な不安があったから」が42.4%などとなっている。

性別にみると、男女とも「子供（妊娠した）がいるから、子供のことを考えたから」（女性66.8%、男性60.4%）が最も多く、次いで、女性は「経済的な不安があったから」（48.9%）、男性は「世間体が悪いと思ったから」、「相手には自分が必要だと思ったから」（33.3%）が多くなっている。（図2-7-1）

問11 あなたが、配偶者と別れなかった理由は何ですか。  
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図2-7-1 配偶者と別れなかった理由（複数回答）



### (8) 子供が原因で別れなかった理由

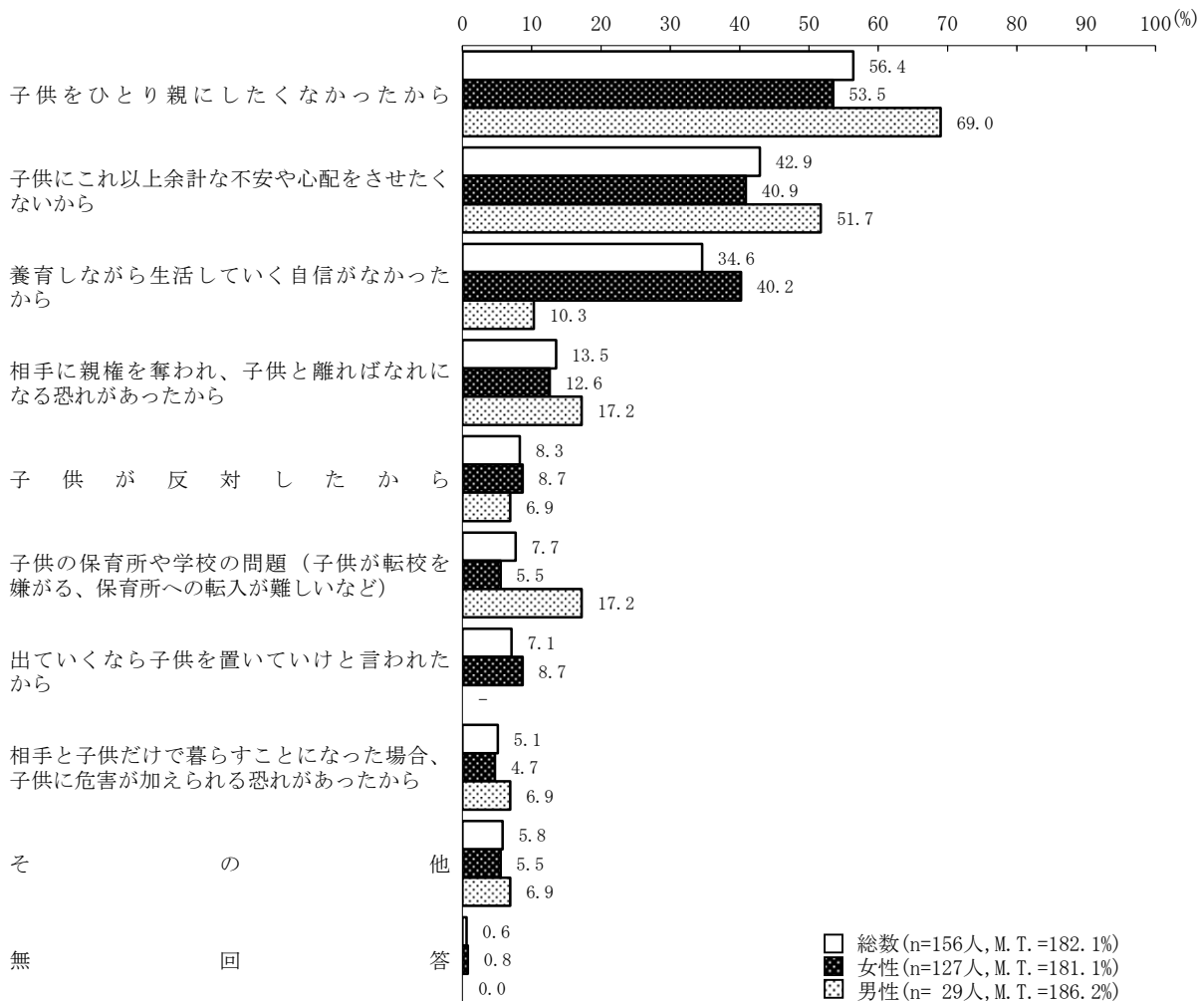
「子供がいる（妊娠した）から、子供のことを考えたから」という理由で相手と別れなかった人（156人）に、子供のことで相手と別れなかった理由を聞いたところ、「子供をひとり親にしたくなかったから」が56.4%と最も多く、次いで「子供にこれ以上余計な不安や心配をさせたくないから」が42.9%、「養育しながら生活していく自信がなかったから」が34.6%などとなっている。

性別にみると、男女とも「子供をひとり親にしたくなかったから」（女性53.5%、男性69.0%）が最も多く、次いで「子供にこれ以上余計な不安や心配をさせたくないから」（女性40.9%、男性51.7%）となっている。「養育しながら生活していく自信がなかったから」は女性で多くあげられている。

(図 2-8-1)

問 12 あなたが、子供のことで配偶者と別れなかった主な理由は何ですか。  
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

図 2-8-1 子供が原因で別れなかった理由（複数回答）



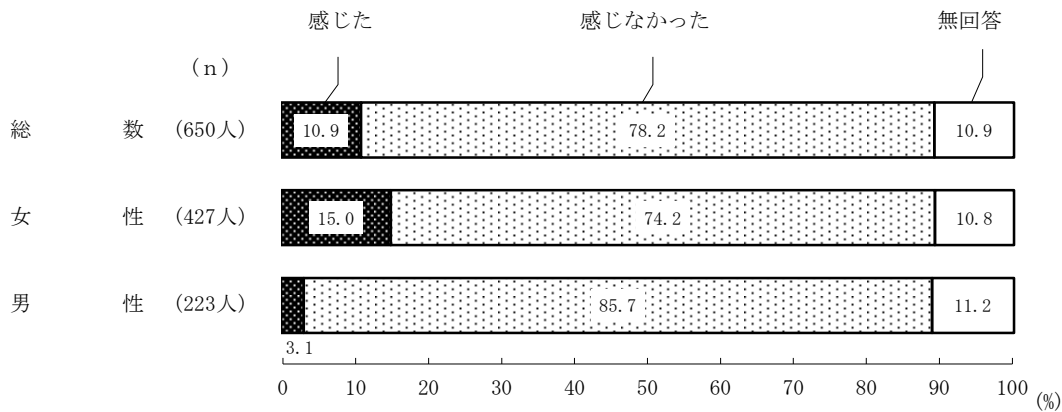
### (9) 命の危険を感じた経験

これまでに配偶者から何らかの被害を受けたことのある人（650人）に、その行為によって、命の危険を感じたことがあるか聞いたところ、命の危険を「感じた」が10.9%となっている。

性別にみると、命の危険を「感じた」は、女性が15.0%、男性が3.1%となっている。（図2-9-1）

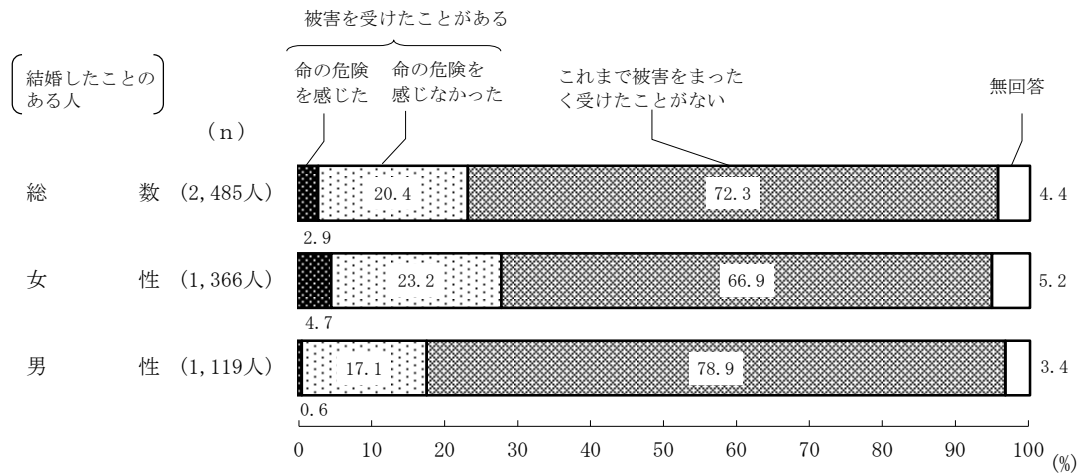
問13 あなたはこれまでに、配偶者から受けたそのような行為によって、命の危険を感じたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図2-9-1 命の危険を感じた経験



これまでに被害を受けたことのない人も含めて、結婚したことのある人全体（2,485人）でみると、命の危険を「感じた」という人は2.9%で、女性は4.7%、男性は0.6%となっている。（図2-9-2）

図2-9-2 命の危険を感じた経験（全体ベース）



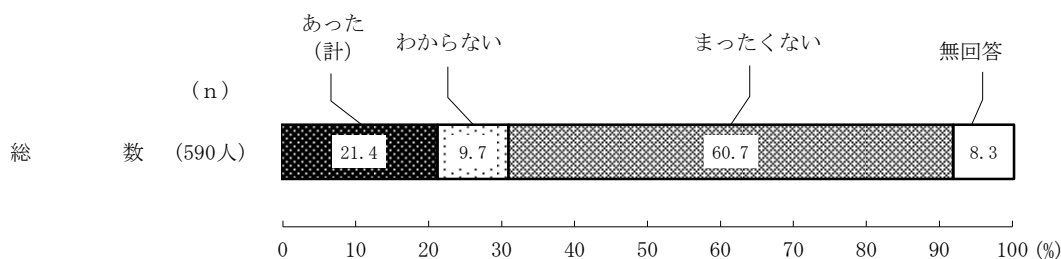
## (10) 子供の被害経験

これまでに配偶者から被害を受けたことがあり、子供がいる人（590人）に、子供が18歳になるまでの間に配偶者から被害を受けたことがあるかを聞き、何らかの被害経験を回答した人の計を『あった』としてまとめた。

『あった』は21.4%となっている。（図2-10-1）

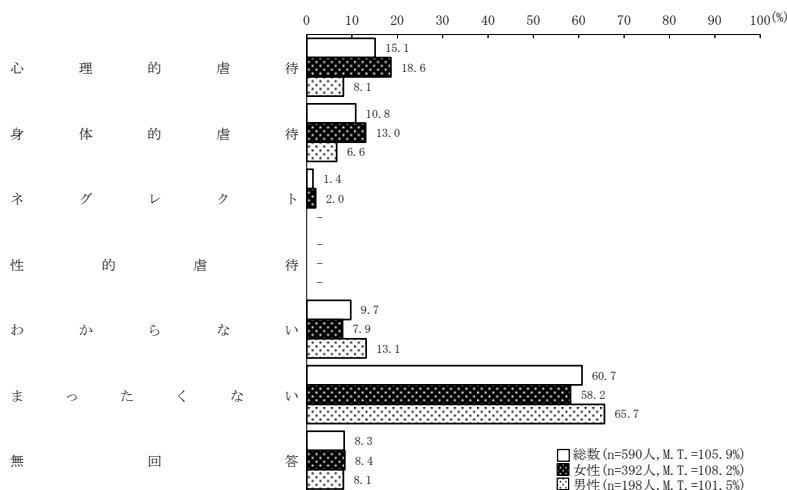
**【子供がいる方にお聞きします】**  
 問14 あなたの子供は18歳になるまでの間に、配偶者から次のようなことをされたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図2-10-1 子供の被害経験の有無



子供の被害経験の内容をみると、「心理的虐待」が15.1%と最も多く、次いで「身体的虐待」(10.8%)などとなっている。（図2-10-2）

図2-10-2 子供の被害経験（複数回答）



身体的虐待…例えば、なぐる、ける、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束する、長時間外に放置するなど

性的虐待…例えば、子供への性行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、児童ポルノの被写体にするなど

ネグレクト…例えば、家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

心理的虐待…例えば、言葉による脅し、無視、兄弟姉妹間での差別的扱い、子供の目の前で家族に対して暴力をふるう、兄弟姉妹に虐待行為を行うなど